

オープンキャンパス ミニ講義

8月2日（金）

人工知能（AI）を活用した薬剤師支援システムで

薬剤師の職能向上を目指す

薬剤師職能開発研究部門 湯本 哲郎（ゆもと てつろう）

近年、国の施策として「かかりつけ薬剤師」の配置が推進されています。「かかりつけ薬剤師」とは、薬による治療のこと、健康や介護に関することなどに豊富な知識と経験を持ち、患者さんや生活者のニーズに沿った相談に応じることができる薬剤師のことをいいます（日本薬剤師会）。患者さんや生活者のニーズは多様化しており、薬剤師が適切な情報源へ効率良くアクセスするための情報検索技術の向上が従来以上に求められています。

今回のミニ講義では、AI（Artificial Intelligence）を活用した新規情報検索システムの研究開発を中心に現在取り組んでいる薬剤師支援システム全般について紹介します。なお、AI 研究は本学の応用医療情報研究室と共同して行っております。

8月3日（土）

難治性疾患の解明のための幹細胞生物学の理解:

薬学と再生医療領域との関わり

薬理学研究室 葛巻 直子（くずまき なおこ）

超高齢社会を目前にした今、認知症やがんなど細胞劣化により引き起こされる病気が数多く存在します。病気を解き明かす鍵となるのは、細胞の持つ若返りの能力（リプログラミング）や環境によって細胞の個性が変わっていく能力（エピジェネティクス）などの理解です。これらは、“幹細胞生物学”が発展して行く中で、解析されてきた生体の仕組みの一つであり、再生医療だけでなく、老化やがん化の仕組みを解き明かすためにも必要な新しい学術領域です。生体の仕組みを理解することは、疾患解明や治療法の探索にも重要であり、「薬学」とも密接な関わりを持っています。ミニ講義では、こうした幹細胞生物学の理解が、難治性疾患解明へどのように結びついて行くのかを紹介します。